

戦争も基地もいらない

3.20

世界の平和を願う
市民のつどい
in 岩手

3.20 | SAT
10:00~12:10
岩手県公会堂 大ホール

●参加無料 ●保育あります・無料(事前申し込み必要)

講演

「日米安保50年の今、沖縄から考える日本」

作家、政治学者 C・ダグラス・ラミスさん

〈講師プロフィールは裏面〉

つどい終了後、ピースパレードします

武力で平和はつukれない

主催 「3・20世界の平和を願う市民のつどいin岩手」実行委員会

事務局 平和憲法を守る県民懇談会

問い合わせ先 TEL019-684-2225 / FAX019-684-2227 (県消団連・県生協連)

戦争も基地もいらない

米ブッシュ政権が「テロとの戦い」を叫び、アフガニスタンでの戦争を開始して8年、イラク戦争もこの3月20日で開戦から7年が経ちます。しかし、アフガニスタンもイラクも、テロは収まらず、戦闘は泥沼化するばかりで、多くの子どもや女性たちが今も犠牲になっています。米オバマ大統領は、イラクからは撤退はするものの、アフガニスタンには3万人を増派し、引き続き「テロとの戦い」を続けることを表明しました。武力では「テロ」を封じ込めることはできないことは、この間のイラク・アフガニスタンをみれば明らかであり、米軍の増派は、市民の犠牲をさらに増やすだけです。

最近ではマスコミでの報道も減り、イラクやアフガニスタンでの戦闘は、私たちには遠い国のできごとになってしまっています。しかし、この2つの戦争に、日本の米軍基地から参戦し、また、私たちの税金がこの米軍基地の維持のために使われています。沖縄に駐留している米海兵隊は、米軍の戦争でいつも先陣をきって殴りこむ“実践部隊”であり、04年から05年まで沖縄基地の“実戦部隊”ほとんどがイラクに出撃し、多くの市民が犠牲となったイラク・ファルージャ攻撃に関わったとされています。

現在、辺野古への基地移転が大きな問題になっていますが、日本の安全には米軍の駐留が不可欠との「日米安保条約」から今年50年…。世界では米軍再編の中で縮小がすすむ計画で、米軍駐留は日本が世界トップとなります。しかも、その61%が沖縄に集中し、住民は常に危険にさらされ生活しています。また、手厚い「思いやり予算」や米軍再編のための費用負担は、アメリカが世界で展開する戦争への協力です。戦後65年、米軍基地は本当に必要でしょうか。

私たちは世界中のあらゆる戦争をなくすため、また戦争につながる基地もいらないという声をあげ、行動したいと思います。ぜひご参加下さい。

3.20 世界の平和を願う 市民のつどい in 岩手

3月20日(土) 10:00~12:10
岩手県公会堂 大ホール《参加無料》

■開会・主催者あいさつ

■イラク帰還兵の証言

映画「冬の兵士」ダイジェスト上映(15分間)

■講演 「日米安保50年の今、沖縄から考える日本」

作家、政治学者 C・ダグラス・ラミスさん

■つどいアピール

つどい終了後、大通り～菜園通り(予定)“ピースパレード”します
飛び入り・仮装 大歓迎!

C・ダグラス・ラミスさん

【講師プロフィール】

1936年、サンフランシスコ生まれ。作家・政治学者。1960年に海兵隊員として沖縄に駐留、翌年除隊。1980年から2000年まで津田塾大学教授。現在沖縄を拠点に執筆・講演活動を行う。

著書に「憲法と戦争」(昌文社)、「経済成長が無ければ私たちは豊かになれないのだろうか」(平凡社)、「普通の国になりましょう」(大月書店)、「ガンジーの危険な平和憲法案」(集英社)ほか。「世界がもし100人の村だったら」池田香代子氏との対訳。

日本語でお話します。



武力で平和はつukれない

主催 「3・20世界の平和を願う市民のつどいin岩手」実行委員会 事務局 平和憲法を守る県民懇談会

問い合わせ先 TEL 019-684-2225 / FAX 019-684-2227 (県消団連・県生協連)

■事務局構成団体(11団体)

岩手県医療労働組合連合会 岩手県教職員組合 岩手県高等学校教職員組合 岩手県消費者団体連絡協議会
岩手県自治体労働組合総連合 岩手県生活協同組合連合会 岩手県農業協同組合労働組合 憲法改悪阻止岩手県各界連絡会議
憲法擁護岩手県連盟 新日本婦人の会岩手県本部 全日本自治団体労働組合岩手県本部 (50音順)